



## エジプト・アラブ共和国 Arab Republic of Egypt



### たばこ産業と特徴

1. 中近東・北アフリカで最大のシガレット市場であり、シガレットの販売数量は674億本（2002年）。
2. 年間製造数量は541.8億本（2001年）。
3. 伝統的な水パイプたばことシガレットが競合している市場である。
4. EASTERN TOBACCO COMPANYが独占的に製造し市場を支配している。Marlboro、Camel等17銘柄をアンダーライセンスで製造している。
5. EASTERN TOBACCO社製品のシェアは92%（2002年）。同社ブランドのCleopatraのシェアは90.2%を占めている（2002年）。
6. Philip Morrisのシェアは1999年の14.4%から、2002年には7.9%に低下している。
7. オリエン特・ブレンド製品が98.8%を占めている。
8. 1992年から輸入が認められたが数量は極めて少ない。
9. シガレットの広告は厳しく規制されている。

### [1] 規制等

#### 警告文等：

1981年以来、包かの側面に法定の警告文の記載義務あり。TN含有量を包かに記載義務あり。

#### 喫煙場所規制：

国内線、公共の建物内、バス、映画館、劇場は禁煙。列車は禁煙車を設ける必要あり。

最近、厚生省の建物内で禁煙が始まり、文部省、学校内にも禁煙を広げようとしている。

#### 広告規制：

シガレットの広告は厳しく規制されている。1977年以来、ラジオ、テレビでの広告は完全に禁止。ビルボード、POS広告は認められているが、広告と共に法令で定められている警告文の表示が必要。

#### 販売促進活動：

イベントのスポンサーになることは可能。サンプリングも可能。

#### (最近の動向)

「健康エジプト2001」は喫煙を減らし、たばこ関連の病気や死亡者数を減らすことを目指している。

議会で喫煙抑制のための増税が提案されたが通過しなかった。

### [2] 税制

輸入シガレットの税率は小売価格の65%。国産シガレットの税率は61%である。

物品税は、工場出荷価格が1包か当たり0.65エジプトポンド未満のものは0.925エジプトポンド、0.65ポンドを超えるものは1.37エジプトポンド。輸入製品にはCIFの85%の輸入税がかかる。

1999年の輸入製品のシェアは1%に過ぎないが税収は61%である。

エジプトのたばこからの税収は2000年で3億1,900万ドル、政府歳入の約2.5%を占めている。

葉たばこ原料の輸入関税総収入は6,000万ドル。

### [3] 喫煙者プロフィール

2000年で喫煙者率は29%と推定され、喫煙者人口は約1,900万人である。1999年には1人当たり年間54包かを消費している。

成人喫煙率：男性 40%、女性 18%、平均 29.1%（2000年）

若者喫煙率：男性 22.8%、女性 15.8%、平均 19.6%（2000年）

### [4] 市場概況

- エジプトは中近東、北アフリカで最大のシガレット市場である。エジプト市場では、水パイプ用の糖蜜加工業たばこを使う伝統的な水パイプたばこが、工場製シガレットと競争している。
- 15歳以上の成人一人当たりの消費量は、1970年代から1980年代初期には急速に伸びた。その後、主に経済要因のために、1988年から1993年にかけて全体で11%の落ち込んだ。1995年以降は安定している。2001年の総販売数量は637億本、2002年は674億本。
- エジプトのシガレット市場は、1992年に政府が輸入禁止を解除したが、輸入製品は伸びていない。
- Eastern Tobacco Company (ETC) がシガレットを独占製造している。エジプトの国産のシガレット・ブレンドは95%以上がETCの製造によるものである。残り5%は外国企業のブランド（主にPhilip MorrisとJTI）で、契約によりETCが製造している。
- 水パイプ用の糖蜜加工たばこは11,379トン、パイプたばこは6トン、葉巻は43.2万本が販売された。1994年にCIS、南アフリカ、東欧向け輸出を目的とする新製品Deltaが発売された。
- エジプト専売のEastern Tobacco Companyの株が公開されてから、シガレットの価格統制は1999年に緩和された。同社は古いブランドや新ブランドの値上げが認められている。将来は値上げが予想される。
- たばこ産業は民間部門との競争に門戸を開くよう圧力がかけられており、1996年にPhilip Morrisはエジプトに独立の製造工場設立を申し入れたが失敗した。

シガレット・データ（単位100万本）

	2000年	2001年
製造数量	55,333	54,179
輸出数量	942	1,968

## [5] 製品概況

- シガレットはキングサイズが主流である。主要銘柄は、シガレットはCleopatra、Belmont。葉巻はCorona、Medianitos、Toskanellis。水パイプ用はSaalum、Matoasian、Naama等。
- エジプトの国産シガレットの価格は1992～1998年まで固定されていた。最も人気があるCleopatra king size 80mmは2000年で市場シェアの57%を占めているが、小売り価格は1999年に0.1ポンド値上げされて1.6エジプトポンドである。
- 大部分の国産ブレンド・シガレットはフルキュアードたばこが50%、パーレー葉が25%、オリエント葉が25%のブレンドである。
- 水パイプたばこの大部分はダーク・ファイアーあるいはエアキュアード葉たばこを約20%と、残りを主にパーレー葉と糖蜜をブレンドしたものである。芳香性の水パイプたばこ（リンゴ、ミント、柑橘類の香料）は過去数年伸びている。

製品シェア（単位 パーセント）

	1999年	2000年	2001年	2002年
<b>Egyptian Tobacco Monopoly</b>	85.4	85.9	85.9	92
Cleopatra family	79.8	83.9	86.9	90.2
Belmont 100s	7.9	1.1	NA	NA
Lite LS Box	0.4	0.2	NA	NA
Boston family	1.5	0.6	NA	NA
<b>Philip Morris</b>	14.4	13.9	11.4	7.9
Marlboro family	10.6	10.3	NA	NA
Merit family	1.2	1.7	NA	NA
<b>British American Tobacco</b>	0.2	NA	0.1	NA
Kent 100s	0.2	NA	NA	NA

（出典 Maxwell Report 2001/6, 2003/10）

シガレット消費数量

	2001年	2002年
消費数量	637億本	674億本
フィルタ付き製品%	100%	100%
オリエント・ブレンド製品%	98.80%	NA

平均小売り価格

国産製品	1.19 USドル
輸入製品	1.19 USドル

## [6] 企業概要

Eastern Tobacco Company:

ETCは1984年にEl-Nasr Tobacco Companyと合併して以来、エジプトの独占的なメーカーであり、中近東及びアフリカで最大の規模を誇る、同地域では最も進歩したシガレット・メーカーである。ETCは政府が所有していたが、1995年に部分的に民営化が始まった。

鉱山&耐火煉瓦持ち株会社はETCの株式の20%、500万株を従業員と一般市場に半分ずつ売却した。1999年に同持ち株会社は更に保有株式を売却し、現在のETCの持ち分は66%、一般が34%である。

主要ブランドのCleopatra（数種類のブランド・ファミリーがある）のシェアは92%（2002年）、その他にBelmont、Giza、Sinaである。

国産ブランドの製造割合は95%、Marlboro、Camel、Rothmans、Silk Cut、Dunhil、Gitanesを含め17の外国銘柄のアンダーライセンス製造の割合は5%である。

シガレットの他に、パイプたばこのCaptain、Westward Hol、Will's Legation、葉巻のBaronet、Corona、Medianitos等を製造。

2001年の製造数量は541億7,900万本。

フィルタ、カートン、シートたばこ等の国産化により年間4,400万USドルを節減し、コスト低減に寄与している。

工場数:ギザに4箇所、アレキサンドリアに3箇所、ミナフに2箇所、タンタに1箇所。

シックス・オブ・オクトバー市の第6工業団地に、新しい工場を建設する準備段階に入っている。

その他に、ボーグ・エル・アラブ市に輸出製品を製造する特殊工場を建設する。

## [7] 葉たばこ概況

エジプトで葉たばこを栽培することは非合法である。エジプト専売のEastern Tobacco Company（ETC）がエジプトの葉たばこ輸入の80%を取り扱っており、その数量は2001年で約57,500トンである。

残りは水パイプたばこに加工処理する20～30の民間企業が輸入している。過去数年、輸入業者は安い葉たばこ供給源に転向している。葉たばこ消費量の約2/3はシガレット製造用である。

残りは水パイプたばこの製造に使われ2001年には17,000トンであった。

1999年には中国がエジプトに対する最大の葉たばこ輸出国であり、次いでイタリア、ギリシャ、ブラジルの順であった。